



LPP社とのRFID取組み事例

製造～販売までRFIDを活用

2024年 5月
チェックポイントシステムズ社 ケーススタディ



CHECKPOINT SYSTEMS

Delivery and implementation of RFID technology. At scale and on deadline.

迅速かつ大規模にRFIDを実装 ～チェックポイントとの取り組み～

LPP社について

LPPはポーランドのアパレル小売企業です。Reserved、Cropp、House、Mohito、Sinsayなどのブランド名で、中欧や南欧で2,200店舗を展開しています。

同社は3大陸1,500社以上のサプライヤーと提携し、DC 4 拠点、eコマース倉庫 4 拠点からなる広大な流通網を構築しています。

LPP社の課題

現在小売業は、パンデミック、経済的、地政学的な課題、インフレ、ウクライナ侵攻など、様々な困難に直面しています。特に、LPPの掲げる「さまざまな地域でのプレゼンス強化」という目標において、これらの危機は試練と言えます。

この目標を達成するには、サプライチェーン網への継続的な投資と、生産から流通、そして全店舗の在庫可用性に至るまでの業務効率の改善が重要であるとLPPは捉えていました。

実施した取り組み

LPPは商品の一連のプロセスを管理する包括的なソリューションを探していました。このニーズに応えたのがチェックポイントのRFIDソリューションです。

最初の2年間の取り組みが成功した後も、LPPはチェックポイントの次世代RFIDソリューションを3つの領域（製造、DC、店舗）で継続して実装しています。

これにより、グループ全体でのマルチチャネルの販売効率がさらに改善しました。



主なメリット

1. 在庫がシステム内のどこにあるのかを追跡でき、**商品の可視性、在庫の正確性を向上**
2. 防犯ゲートとの組み合わせにより、**盗難を効果的に防止**。
購入せずに商品を店外へ持ち出そうとすると、店舗スタッフや警備員にお知らせ
3. サイズやカラーなど、**個品単位での在庫情報を従業員に提供**
4. お客様が求める商品が**いつでも商品棚に陳列できる**よう、**補充業務をサポート**

プロジェクトの目的

LPPの重要な目的：

- 在庫精度の向上
- 在庫管理の改善
- 店舗運営の生産性向上
- ロス削減

顧客のメリット：

- オムニチャネル実現
- 商品棚の可用性向上
(補充による欠品防止)
- スムーズな会計、所要時間の短縮





迅速かつ大規模な
RFIDの実装

実装へのタイムスケジュール

RFID実装のスケジュールは非常にタイトでしたが、最良の例は2カ所のDCでの取り組みで、1年足らずで立ち上げが完了しました。

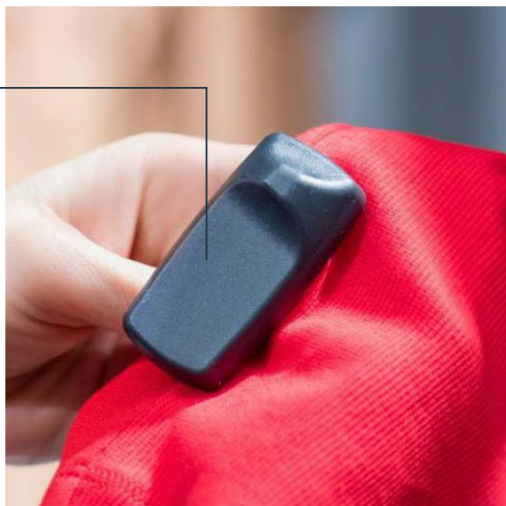
LPP社からの要望事項

RFID実装において、LPPからの最初の要望は、店舗や商品棚にふさわしい設計のデュアルタグ（RF/RFIDの二重周波数対応）の開発でした。

チェックポイントは、自社の広範なグローバルリソースを活用して、LPPのリクエストに応じたタグを開発・製造し、RFID実装計画に遅延することなく提供しました。



LPP向けに開発した新型デュアルタグ



成功への 3段階

01

全アパレル商品に対し、デュアルタグを製造工場に取り付け（ソースタギング）

02

DC 2 か所でRFIDトンネルを30台設置。タグの読み取りとエンコードを実施

03

2019年から2023年にかけて、1,150店舗でRFIDを全面的に実装

LPP社が
ヨーロッパで展開する
アパレルブランド





結果

2021年の取組みにおいて、
商品棚の可用性は99%を達成、
在庫精度は99%を達成、
レジでのプロセスは平均70%短縮に
成功しました。

最新数値によると、
2019年から2022年までの期間、
在庫の可用性は13.6%向上、
欠品率はわずか0.5%に低減、
在庫回転期間は43倍早まり、
80%のコスト削減を達成しています。

また、レジでの所要時間も4秒短縮し、
売上は3%増加しました。

在庫回転期間を
43倍向上し、
80%コスト削減

レジでの所要時間：
4秒短縮



在庫の可用性：
13.6%向上



欠品率：
わずか**0.5%**



売上：
3%増加



今後の展開

LPPがチェックポイントのRFIDソリューションをサプライチェーン全体に導入したことは、同社の変革戦略の重要な一環となりました。これにより、パンデミックによる急激な変化にも柔軟に対応し、収益と顧客を維持することができました。

オンライン販売は今後も増加が見込まれています。LPPの野心的な拡大計画と組み合わせて、RFIDへの投資はオムニチャンネル販売における重要な役割を果たし、今後の成長と利益基盤の構築に役立つことが期待されています。

将来に向けて

LPPのRFID展開は継続しており、将来の計画にはスマートな配送の導入や、さらなるオムニチャンネルの探求が含まれています。

LPPの投資と、チェックポイントの柔軟性、適応性、そして迅速な導入により、LPPはRFIDによる完璧なスタートを切り、最も必要な時には準備が整っていました。

LPPのRFIDの取り組みが続く限り、チェックポイントはすべての段階で共に歩んでいきます。



チェックポイントシステムズについて

チェックポイントシステムズは、CCLインダストリーズ社（本社カナダ）の事業部門の一つで、RF/RFIDによるロス対策、在庫管理とトレーサビリティ、ブランディング、サプライチェーンマネジメント、ビジネスデータインテリジェンスソリューションを提供するグローバルリーダーです。

50年以上にわたる専門知識を活かし、クラウドベースのSaaS、コネクテッドハードウェア、ラベル、タグを組み合わせた独自のソリューションを提供しており、企業プロセスの明確化、効率化を実現します。

チェックポイントの技術ソリューションは、フード&ビバレッジ、アパレル&シューズ、一般商品、ヘルス&ビューティ、サプライチェーン・ロジスティクスなどのさまざまな市場の小売業やブランドに向けて収益性を向上させるための連携したアプローチを提供し、よりシームレスで魅力的なショッピング体験を実現します。

CCLインダストリーズ社について

CCLインダストリーズ社は、特殊ラベル・包装ソリューションにおける世界的なリーディングカンパニーです。グローバル企業から小規模ビジネス、また一般消費者向けに商品を提供しています。

世界43カ国において213の生産設備を展開し、約25,700人の従業員を有します。

本社はトロント（カナダ）およびフランミンガム（米マサチューセッツ州）にあります。